保証書 持込修理 無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
   (イ)使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造等による故障及び損傷
   (ロ)お買上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
   (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛り等による故障及び損傷
   (ニ)消耗または摩耗した部品、付属品の交換
   (ホ)本書のご提示がない場合
   (ヘ)本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
   (ト)本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
   (チ)一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居等で本保証書に記入のお買上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	Bluetooth 防水スピーカー			★お買上げ日: 年 月 日
型番	ASP-BT280N-W ASP-BT280N-K ASP-BT280N-P	品番	03-2199 03-2232 03-2236	保証期間:本体1年間(お買上げの日から)

お客様	★お名前 様 ★ご住所 〒 ー 電話 ( )

修理メモ

販売店	★住所 店名 電話 印

(注)★印欄に記入の無い場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは お客様相談室 へ
●通話料無料 0120-963-006
●携帯・IP・公衆電話からは 048-992-2735
電話受付 平日 9:00〜17:30 土曜 9:00〜17:00 日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ
電話受付 048-992-3970 平日 9:00〜17:00 土・日・祝日及び年末年始は除きます

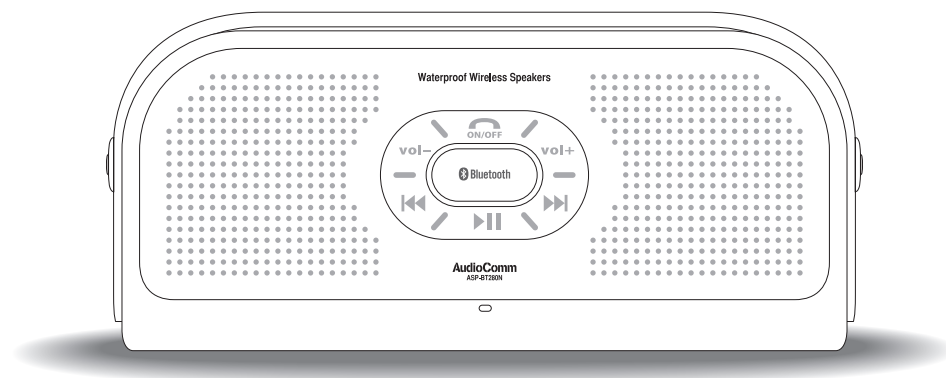
03-2199/2262/2236A

AudioComm®

※JIS C0920:2003による

取扱説明書 保証書付

Bluetooth 防水スピーカー

**型番: ASP-BT280N-W
ASP-BT280N-K
ASP-BT280N-P**

このたびは、AudioComm® Bluetooth 防水スピーカーをお買い上げいただき誠にありがとうございました。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。**"この取扱説明書をよくお読みの上、製品を安全にご使用ください。"** また、お読みになった後も、ご使用時にいつでも見られるよう大切に保管してください。

本製品は、特定無線設備として日本国電波法第38条の24第1項の規定に基づく認証を受けております。

目　次

免責事項…… 1
安全上のご注意 …… 1〜3
Bluetooth機器使用に関する注意事項 …… 3
Bluetooth機器との接続可能範囲について …… 4
防塵・防水性能について …… 4
各部の名称…… 5
電源について …… 6
ペアリングのしかた …… 6〜7
音楽を再生する …… 7〜8
ハンズフリー通話に関連するボタン機能…… 8
本機の設定をリセットするには …… 8
LINE IN(外部入力)端子による外部機器の再生 …… 9
故障かなと思ったら …… 9
主な仕様…… 10
お手入れ方法…… 10
保証書とアフターサービスについて …… 10
保証書…… 裏表紙

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

●弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
●本製品によって生じたデータの消失または破損
●本製品のために費やした時間および経費
●本製品を運用した結果もたらされた損害
●本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果および利益の損失
●本製品をご使用になって生じたあらゆる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

安全上のご注意

電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階で表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

危険	この表示を無視して、誤った取扱をすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

	△記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。(左図の場合は感電注意が描かれています。)
	○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。(左図の場合は分解禁止が描かれています。)
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。(左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜く、が描かれています。)

⚠警告

乾電池を取り外す	**万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに電源を切り、乾電池を取り外す** ●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。 ●煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。
分解禁止	**本機を分解、修理、改造しない** ●火災・感電の原因となります。
カバーを閉める	**電池カバーや端子カバーを確実に閉める** ●水の浸入により火災や感電、故障の原因となります。
接触禁止	**雷が鳴り始めたら、安全のため本機に触れない**
禁止	**医療機器や人命に関わるシステムの近くでは使用しない** ●機器やシステムの誤作動をまねくおそれがあります。
乾電池の電極性に注意	**乾電池は、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、表示通り正しく入れる** ●間違えると電池の破裂、液もれにより火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
乾電池に注意	**乾電池は幼児の手の届かないところへ置く。本機から乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が誤って飲み込むことがないようにする** ●万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。
禁止	**本機の上に重いものをのせない** ●破損や故障の原因となります。

⚠注意

禁止	**ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かない** ●落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
禁止	**窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない** ●キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。
禁止	**ほこりの多い場所に置かない** ●火災・感電の原因となることがあります。
音量は小さく	**電源を入れた後、音楽等を再生する前には音量を抑える** ●突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
乾電池を取り外す	**旅行などで長時間本機を使わないときは、必ず乾電池を取り外す** ●火災・液もれの原因となることがあります。
禁止	**電磁波を発生させる機器(テレビ、モニター等)に近づけない** ●電磁波によりお互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。

次ページに続く

乾電池を安全にお使いいただくために

液もれ、発熱、破裂等の事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

⚠ 警告	・火中への投入、加熱、分解をしない ・ショートさせない
⚠ 注意	・⊕⊖の表示通りに入れる ・指定以外の乾電池を入れない ・古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池を一緒に入れない ・使い切った乾電池はすぐに取り出す ・しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

●万一液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
●万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。
●使用済みの乾電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときはそれに従って廃棄してください。

Bluetooth機器使用に関する注意事項

●病院内など無線機器の使用を禁止された区域では、本機の電源を切ってください。また、無線機器の使用が制限された区域では、施設管理者等に確認のうえ使用してください。他の機器に悪影響を与えたり、事故の原因となります。
●本機を使用中に気分が悪くなった場合は、ただちに使用を中止してください。
●自動車やエレベーターなど自動制御機器に影響が出る場合は、ただちに使用を中止してください。
●本機は、市販のBluetooth対応のすべての機器との接続・動作を保証したものではありません。

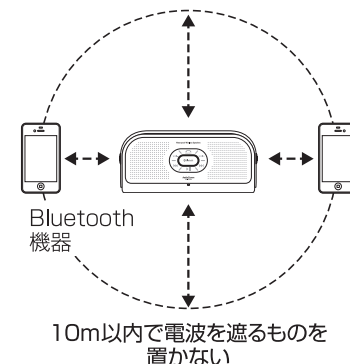
医療機器近くでの使用に関する際は、特に注意してください

●医療機器および人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下では絶対に使用しないでください。
●植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している場合は、装着部から本機を22cm以上離して携行および使用してください。電波によりペースメーカーおよび除細動器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。
●混雑している場所では、周囲に植込み型心臓ペースメーカーまたは植込み型除細動器を使用している人がいる可能性がありますので、ご使用の際は十分にご注意ください。
●医療機関内では次のことを守ってください。
・手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には持ち込まない。
・病棟内では本機を使わない。
・ロビーなどでも、周囲に医療機器がある場所では電源を切る。
・その他、医療機関による使用制限・使用禁止指示は必ず守る。
●植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している方で、自宅等での療養中の方は、本機をご使用になる前に、電波による影響について個別に医療機器メーカーなどにご確認ください。電波により医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

Bluetoothの影響について

●本機が使用する周波数(2.4GHz帯)では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)、および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が適用されています。
●本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運営されていないことを確認してください。
●万一、本機から上記の無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、使用場所を変更するか速やかに電源を切り、使用を中止してください。

Bluetooth機器との接続可能範囲について

●本機とBluetooth機器(携帯電話、スマートフォン、Bluetooth対応ワイヤレス音楽プレーヤーなどの音源側の機器)との間で、電波を受信できる範囲は最大で約10mです(理論規格値であり、通信を保証するものではありません)。
●10m以内であっても、遮蔽物などがある場合や電波を発する他の機器がある場合は、正常に受信できない場合があります。再生音が乱れる場合はそれらの遮蔽物などを取り除いてください。
●本機を使うには、相手側のBluetooth機器が本機と同じプロファイルに対応している必要があります。ただし、同じプロファイルに対応していても、送信側の仕様により使えない機能がある場合があります。
●本機は防磁仕様ではありません。そのためテレビやモニターの近くに置くと、映像が乱れることがあります。このようなときは本機をテレビやモニターから離して設置してください。

防塵・防水性能について

本機は電気機械器具の外郭による保護等級「 IP47※」相当の製品です。 ※JIS C0920:2003 による
●本機は外来固形物に対する保護等級：4級、水の浸入に対する保護等級：7級の性能を有していますが、以下の点を十分理解したうえでご利用ください。

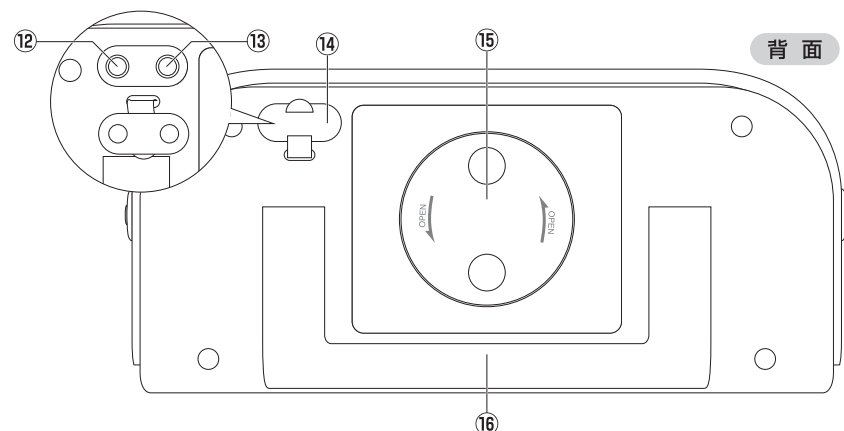
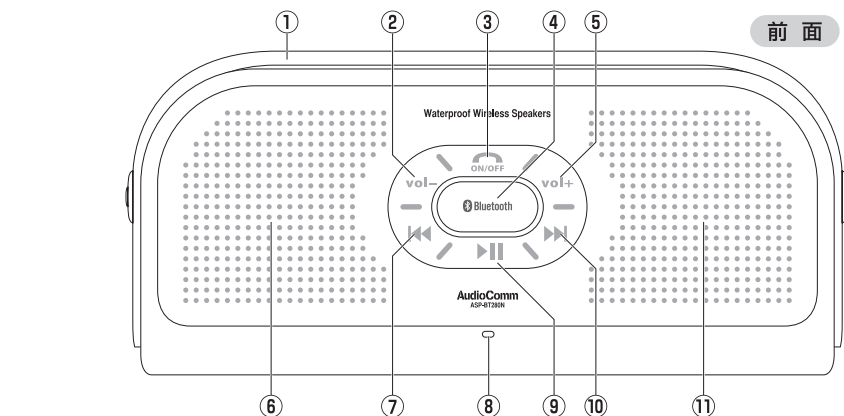
外来固形物に対する保護等級

保護等級	保護の内容
4 級	**直径 1mm 以上のワイヤーや固形物が中に入らない**

水の浸入に対する保護等級

保護等級	保護の内容
7 級	**一時的 (30 分) に一定水深 (1m) の条件に水没しても内部に浸水しない (防浸形)**

【ご使用に際しては、以下の点にご注意ください】
●電池カバーは確実に閉め、回転部のネジをしっかりと締めてください。また、水のかかる場所でお使いの際は、本機背面にある端子カバーもしっかり閉まっていることを必ず確認してください。
●電池挿入部の周囲には防水用パッキンが付いています。取り外したり、破損しないようにご注意ください。
●浴室やキッチン、屋外など、水がかかる場所では、必ず乾電池を使用し、Bluetooth接続にてお使いください。また、LINE IN(外部入力)接続も行わないでください(**LINE IN接続時やUSB外部電源での使用時は防水仕様にはなりません**)。
●ドライヤーで乾かさないでください(密閉部が変形する可能性があります)。
●スピーカー内に水が入った場合は、本機の正面を下向きにして水を出してください。
●乾電池の交換は、必ず本製品に付着した水分を十分に拭き取り、乾いた状態で行ってください。
●湿気の多い場所での乾電池の交換はおやめください。
●本製品は上記の保護等級を有していますが、石けん水、シャンプー、入浴剤、洗剤、温泉水、プール水等の薬品が入った水、海水等の中には浸けないでください(機器の変色や防水部品の劣化による水分の浸入・故障のおそれがあります)。これらの液体に濡れたときは水道水等のきれいな水で洗い流し、水分を十分に拭き取ってから保管してください。
●水の浸入による故障につきましては、保証期間内でも有料修理となる場合があります。ご了承ください。

各部の名称

①ハンドル	⑨再生／一時停止ボタン
②音量ボタン(−)	⑩スキップボタン(⏭)
③電源／通話ボタン	⑪右スピーカー
④電源ランプ	⑫LINE IN(外部入力)端子
⑤音量ボタン(+)	⑬DC IN端子
⑥左スピーカー	⑭端子カバー
⑦スキップボタン(⏮)	⑮電池カバー
⑧通話マイク	⑯スタンド

電源について

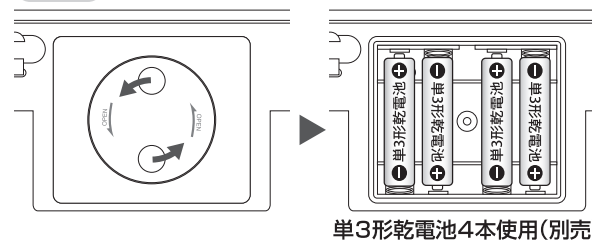
乾電池の入れ方　◆アルカリ乾電池のご使用をお薦めします。

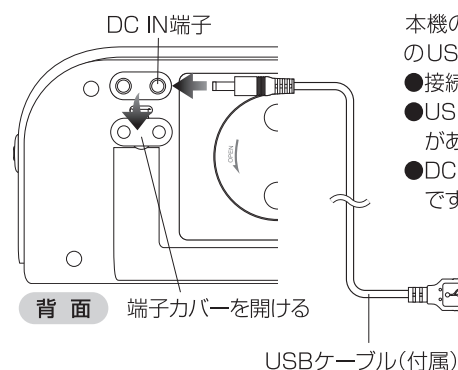
背 面

単3形乾電池4本使用(別売)

❶ 背面にある電池カバーの回転部を矢印の方向に回し、カバーを外します。

❷ 乾電池の向きを図のように正しく入れてください。コイルばねのあるほうが⊖側です。

❸ 入れ終わったら電池カバーのネジ部をねじ穴に合わせてかぶせ、回転部をステップ1とは逆の方向に回してしっかり締めてください。

ご注意 電池カバーを閉めるときは、回転部を確実に締めてください。

USB 外部電源で使うときは（付属の USB ケーブルを使用）

本機のDC IN端子とパソコンのUSB端子(バスパワー対応)を付属のUSBケーブルで接続してください。

●接続するときは電源が切れた状態で行ってください。

●USBハブを経由すると電圧が不安定になり、正常に動作しないことがありますので、直接両機を接続してください。

●DC IN端子によって電源接続して使用する場合は、乾電池は不要です。

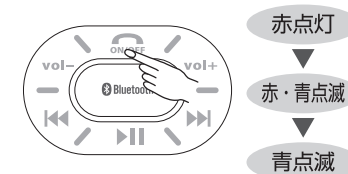
ペアリングのしかた

ペアリングとは、Bluetooth機器(携帯電話やスマートフォン、Bluetooth対応ワイヤレス音楽プレーヤーなどの音源側の機器)に本機を登録し、通信を確立する操作のことです。初めて使うときや、Bluetooth機器側で登録を削除したとき、使用中に正常に動作しなくなったときは、この操作を行ってください。

ペアリング前の準備 使用するBluetooth機器を手元に用意し、電源を入れます。

❶ **本機の電源／通話ボタンを長押しして電源を入れ、指を離します。**

"ピー"と音がして電源ランプが赤く1回点灯し、その後、"ポポッ"という音に続いて赤・青の速い点滅に変わります。赤・青の速い点滅状態になるまでボタンは押したままにしてください。

赤点灯
▼
赤・青点滅
▼
青点滅

❷ **Bluetooth機器側で、ペアリング操作を行ってください。**

次ページおよびご使用の機器に付属する取扱説明書を参照して行ってください。

次ページにつづく

ペアリングのおおまかな流れ

Bluetooth の設定画面を開く → **本機を検索し登録する** → **本機と接続する**

●iPhone…「設定」
●Android…「設定」
●Windows mobile…「設定」
●NTT docomo…「LifeKit」
●SoftBank…「設定」
●au…「Bluetooth」
等のメニューからBluetooth機器の検索画面へ進んでください。

Bluetooth機器側で**「ASP-BT280N」**(本機名)が表示されたら、それを選択して登録を行ってください。
機器によっては、パスキーやPINコードの入力を求められる場合があります。その場合はいずれも**「0000」**と入力してください。

接続が完了すると、"ピッ、ピッ"と音がして、電源ランプの交互点滅が、青のゆっくりとした点滅に変わります。多くの機器の場合、一度登録すると、それ以降は自動で接続されます。機器によってその都度接続操作が必要な場合は、本機との接続を確立した後、音楽等の再生をお楽しみください。

お使いの Bluetooth 機器またはソフトウェアのバージョンによって表示が異なる場合があります。
詳しい操作方法はご使用の機種に付属する取扱説明書をご確認ください。

ヒントとご注意

●複数のプロファイルに対応している機器の中には、プロファイルの選択が必要な機器もあります。その場合は、A2DP、AVRCPまたはHSP、HFPを選択してください。それ以外のプロファイルでの動作は保証しかねます。
●一度登録後、接続がうまく行かなかったり、正常に動作しない場合は、ペアリング操作を再度行ってみてください。
●LINE IN (外部入力)端子に機器が接続されているときはペアリング操作はできません。
●お使いのBluetooth機器が他の機器とBluetooth通信を行っている場合は、本機とのペアリング操作ができないことがあります。その際は、他機との通信を中止し、相手側機器の電源を切ったうえで行ってください。

音楽を再生する

前項のペアリングを行ったうえで、以下の操作をしてください。必要に応じて機器に付属する取扱説明書を参照し、接続操作をしてください。

1 **お好みに応じて本機のボタンを操作し、音楽をお楽しみください。**

▶II	再生／一時停止ボタン	押すたびに再生と一時停止を繰り返します。停止操作が有効な機器の場合は、3秒間長押しすると停止します。
▶▶I	スキップボタン(▶▶I)	次の曲を再生します。
I◀◀	スキップボタン(I◀◀)	曲の先頭まで戻って再生します。2回続けて押すと、ひとつ前の曲を再生します。
vol+	音量ボタン(+)	音量を上げます。最大まで大きくすると"ピー"と音がします。
vol–	音量ボタン(–)	音量を下げます。最小になると"ピー"と音がします。

2 **終了するときは、本機の電源／通話ボタンを長押しします。**
"ピー"と音がして電源ランプが赤く点灯した後、消灯します。必要に応じて、Bluetooth機器側の電源も切ってください。

ヒントとご注意

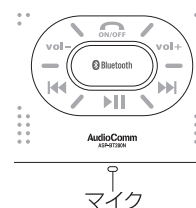
●音楽再生中に電話の着信があったり発信操作を行うと、音楽が中断し、電話を切ると再び再生が始まります(機器によっては、再生／一時停止ボタンを押すことで再生を再開する機器もあります)。
●お使いのBluetooth機器によって、操作方法や動作が異なったり、機能しなかったりする場合があります。詳しくはお使いの機器に付属する取扱説明書をご確認ください。
●お使いのBluetooth機器によっては、スキップボタンが機能しない場合があります。
●Bluetoothの接続可能範囲を超えた場合、電源ランプが赤く数回点滅した後、再生音が途絶え、青く2回ずつの点滅になります。再び接続可能範囲内に戻ると自動接続されますが、Bluetooth機器側が自動電源オフの設定になっている場合は自動接続されません。再度接続操作を行ってください。

ハンズフリー通話に関連するボタン機能

初めてお使いの際は、ペアリングを行ったうえで以下の操作をしてください。

ON/OFF	電源／通話ボタン	**着信時に押す**→電話に出ます。 **通話中に押す**→電話を切ります。 **2秒間長押しする**→直近にかけた番号にリダイヤルします。 ※長く押しすぎると電源オフになりますのでご注意ください。
vol+	音量ボタン(+)	音量を上げます。最大まで大きくすると"ピー"と音がします。
vol–	音量ボタン(–)	音量を下げます。最小になると"ピー"と音がします。

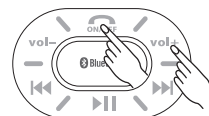
ヒント

本機での通話時は、正面下部にあるマイクに向かって話してください。距離が離れていると、音声が相手に聞こえない場合があります。

ご注意

●携帯電話を携行して本機から離れた場所に移動すると、外部からの着信に気づかないことがあります。本機から離れるときや本機未使用時は、必ず本機の電源をオフにしてください。
●通話中に携帯電話を持って本機から離れると通話が途切れたり、切断される場合があります。

本機の設定をリセットするには

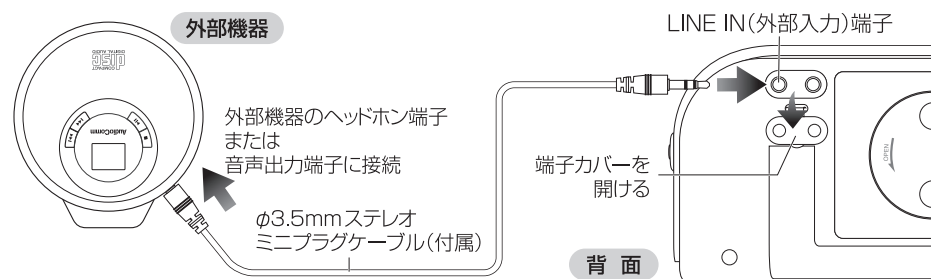
※電源オフの状態で操作してください

電源／通話ボタンと音量ボタン(+)を同時に長押しすると、本機の設定が工場出荷時の状態にリセットされます。リセットが完了すると、"ポポッ"という音に続いて、電源ランプが赤く1回点灯します。

赤く1回点灯

ご注意

●リセットを行うとそれまでの接続設定がすべてキャンセルされ、再度ペアリング操作(機器によっては接続操作を含む)が必要になります。

LINE IN(外部入力)端子による外部機器の再生

Bluetoothを備えていないポータブルCDプレーヤーや携帯音楽プレーヤーなどの音楽は、本機のLINE IN(外部入力)端子と外部機器を、φ3.5mmステレオミニプラグケーブル(付属)で接続することで楽しむことができます。

接続および接続解除は本機、外部機器ともに電源オフの状態で行ってください。

❶ 外部機器側の電源を入れ再生等の操作をします。
正しく接続して外部機器の電源を入れると、本機は自動で電源オンの状態になります(ケーブルを接続すると電源ランプが赤く点灯します)。乾電池の消費を抑えるため、外部機器接続中は本機の電源操作をしないでご使用ください。

❷ 外部機器側で音量を調節します。
LINE IN(外部入力)端子接続中は、音量ボタン(+/−)、スキップボタン(⏮/⏭)、再生/一時停止ボタンの操作はできません。また、本機の電源を途中で入れた場合、音がひずんだりノイズが入る場合があります。

❸ 終了するときは外部機器側の電源を切り、その後、接続を解除します。
本機の端子カバーも忘れずにしっかりと閉めてください。

故障かなと思ったら

症 状	チェック項目
電源が入らない	●乾電池は正しく入っていますか。または消耗していませんか(乾電池使用時)。
	●USBケーブルは正しく接続されていますか(USBケーブルにて使用時)。
	●電源スイッチが正しく「入」の位置に合わせてありますか。
音が出ない	●音量が最小になっていませんか。
	●Bluetooth機器側で音声が消音(ミュート)になっていませんか。
	●Bluetooth機器とのペアリングは正しく行いましたか。
	●Bluetooth機器とのペアリングまたは接続が解除されていませんか。
	●Bluetooth機器の設定は正しくなされていますか。
雑音が入る 音が途切れる	●LINE IN(外部入力)端子にプラグが差し込まれていませんか。
	●乾電池が消耗していませんか(乾電池使用時)。
	●本機とBluetooth機器が10m以上離れていませんか。
	●本機とBluetooth機器の間に遮蔽物がありませんか。
	●周囲で無線LAN機器や電子レンジ等の電波を発する機器、Bluetooth対応のマウスやキーボードを使用していませんか。
	●周囲に無線機を使う施設や放送局がありませんか。

※不具合が起きた場合、本機以外に、Bluetooth機器側に原因があることも考えられます。Bluetooth機器を単独で使用したときに同様の症状が出るかどうかもご確認ください。

主な仕様

Bluetooth部

適合規格	Bluetooth Ver2.1+EDR	周波数範囲	2.402～2.480GHz
伝送方式	FHSS	送信出力	Class2
通信距離	最大約10m(理論値:使用環境により異なります)		
対応プロファイル	A2DP、AVRCP、HSP、HFP / SCMS-T対応		
対応機種	●Bluetoothに対応したタブレット端末、携帯電話、スマートフォン、パソコン、デジタルオーディオ等 ●市販のBluetooth対応アダプターを接続してBluetooth機能を有したパソコン、デジタルオーディオ等 ●音声出力端子またはイヤホンジャック(φ3.5mmステレオミニプラグ)を備えたオーディオ機器。ただし、LINE IN(外部入力)端子によるケーブル接続となります。		

本体・スピーカー部

実用最大出力	2W+2W	周波数特性	150Hz～15,000Hz
スピーカー	口径50mmフルレンジスピーカー×2	インピーダンス	4Ω
電源	6V 単3形乾電池×4本(別売)	外部電源	DC5V 0.5A(付属USBケーブル使用)
質量	約283g(乾電池含まず)	防水性能	IP47 ※1
連続使用可能時間	約8時間(アルカリ乾電池新品使用、音量中程度にて) ※2		
外形寸法	幅196×高さ89×奥行45mm(突起物含まず)		
付属品	USBケーブル×1本、φ3.5mmステレオミニプラグケーブル×1本、取扱説明書(保証書付)		

※1 防水性能:外来固形物に対する保護等級:4級 水の浸入に対する保護等級:7級(防浸形) JIS C0920:2003による ただし、LINE IN(外部入力)端子接続による使用時、USB外部電源での使用時は防水仕様にはなりません
※2 連続使用可能時間はあくまで目安であり、音量などの使用状況や乾電池の種類によって異なります。
○Bluetooth および Bluetooth ロゴは米国 Bluetooth SIG,Inc. の商標で、オーム電機はライセンスに基づき使用しています。その他、本書に記載されている商品名、システム名、社名などは、一般に各社の商標または登録商標です。
○仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

お手入れ方法

本体の汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい時は、布をぬるま湯か薄めた中性洗剤で湿らせ軽く拭いた後、から拭きしてください。
シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、絶対に使用しないでください。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容および「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは
修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。
●保証期間中は
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
●保証期間が過ぎた場合は
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。